

決断のスキル

最後のピースでもあるこのスキルを完成させなければ、これまでの努力がすべて水の泡となります。何事も決断なくして始まることはないのです。ですので、あなたが部屋から抜け出て、現実世界で活躍するためには、まずは今やるべきことを決めることです。

とはいえ、「何を決めればいいのかわからない」という人も多いと思います。そこで、ここからは「何を決めればいいのか」について見ていきます。ここでのポイントは、5つです。

逃げない決断が新たな扉を開く

まず、はじめに行うべき決断は、もうけっして「逃げない」と決めることです。この「いざとなったら逃げればいいのか」という考えは、あなたから本気を奪い取り、やる気を喪失させます。これほど悲しいことはありません。

この「逃げる」がもたらす損失は、あまりにも大きいのです。ですから、あなたが成功を勝ち取りたいと本気で願うなら、ぜったいに逃げないことです。この人生における節々の「甘さ」が、あなたを信用の置けない人間という「感じ」にします。

「考え」が、その人間をつくるのです。しかし多くの人は、この頭の中の「考え」は他人に見えないから何を「考え」てもいいと思っているでしょう。ところが恐ろしいことに、それはその人となりを形成するのです。

異性関係のだらしなさや、仕事のツメの甘さなどは、ハッキリ言ってすぐにばれます。「何事もやってみないことには先が見えないから」と言って、最初っから腰が引けているような人に、いったい何をお願いできるでしょうか。ですから、あなたが成功したければ、退路を断つこと、それが第一の決断です。

守るべきものが決断を確信に変える

では、どうしたら、この逃げない決断を持つことができるのか？それは、2つ目の決断のスキル、「守るべきものを決める」ことです。このようにいうと、「そんなものは私にはありません」と言う人もいるかもしれません。

人は自分だけが成功し、他人がうらやむような生活をするという目的だけでがんばれません。自分は我慢しても、大切な人を守りたいと考えるのが人間です。これは子供のいる人であれば、大いに理解できると思います。

塾でもライフタイムチャートを書いてもらいましたが多くの人が、子どもできたとか、結

婚したとか、会社で部下ができたとかでエンジンがかかり、発奮する気持ちがふつふつと湧き出たかと。これは、単純に守るべきものがハッキリしてきたからです。対象は「人」です。

それ以前の自分と何が違ったかという、ごく無意識に、自分の死と引き換えに家族や愛する人を守ろうとするからです。つまり、「愛する人を守ること」と「自分の命」が同じ重さとなって、「逃げる」を凌駕するのです。なぜか、そんな瞬間に遭遇することがあります。

私はこの4年間で2度死にかけた経験がありますが、2度とも不思議な命拾いをしました。私にはとうぜん家族の存在がありましたが、いつもそばにいて私にいろいろな経験を積みさせてくれ、私を支えてくれたのが「物流」です。だからこれから先は私が、物流を発展させる番ですし、「物流に関わる人を幸せにする義務がある」と思っています。

勢いに任せる

さて、最初のアタックで車輪が動きだしたら、さらにアクセルを踏むことです。というのも、そこでブレーキをかけたり躊躇してしまうことは、「逃げる」と同じだからです。車輪を回す力を加減しては、ちょっとだけ行って止まってしまうことでしょう。

とはいえ、そのアクセルの踏み込みに抵抗を感じて、怯んでしまうも事実です。恐怖が頭を支配し、思わずブレーキをかけてしまうものです。そうでしたらこうしてください。

サウナのあと冷たい水に飛び込むのと同じように、はじめは勢いに身を任せて「えいやー」と頭まで飛び込んでしまうのです。最初はヒヤッとします。でもごく短時間に、身体の方が水の冷たさに順応していくものです。

ビジネスとは勢いです。成功を掴むには、ビシバシ「ムチを入れ」て、勢いを止めないことです。勢いのある人のところに、お金、人、チャンスが、次々と舞い込んできます。

なぜなら、「勢いのある」とはつまり「決断が早い」ことの表われであり、「決断が速い」ことはビジネスにとって、そして成功する人にとって欠かせない要素なのです。だからまわりを出し抜くためにも、震える気持ちをなんとか押し殺し、「えいやー」で飛び込むことが大切です。そうすることで、あなたははじめて、上のステージに駆け上れるのです。

完璧を目指さなくてもいい

そのうえで大切な考えは、「やり抜くこと」です。多くの人はこれを見過ごしてしまうのです。どれだけ素晴らしい理念や目的を掲げたところで、せっかくの理念や目的を世に問うことなく、はかなく消滅させてしまうのは、他でもない、道半ばで中止してしまうあなた自身なのです。

それを避けるマインドセットは、形にこだわる必要も完璧を目指す必要もないということです。というのも、そもそも世の中、完璧なものなど何ひとつありません。仮に完璧を貫いたところで、そこに価値なんてないのです。

なぜなら、お客はあなたの商品やあなたのサービスに完璧さを求めているからです。お客は自分の願望を達成することを求めているのです。それなのに、提供する側のあなたはどうしても、商品が持つ機能や品質に完璧さを求めて止まないのです。

継続させること=永続的成功

それより大切なことは、その行為を「続けること」です。最初から上手にできる人などいません。はじめはガタガタで荒削り、よちよち歩きしている感じでしょう。

しかしそこをやり通していく内に人は、素人からプロになっていきます。それが繰り返すことで得られる真の結果であり、やり続けるからこそ到達する境地なのです。だから何度も繰り返す必要がありますし、その繰り返すことで成果をより向上させられるのです。

1回目にはできなかったものが2回目にはできるようになり、2回目には気づけなかったものが3回目に反映することでよりよいものに仕上げていくことができます。しかし多くの人が成功を手にすることができないのは、この繰り返しをやらないからです。

そして、1回やった程度ですべてを知った気になり、「とどのつまり結論はこうだ」と高をくくって、継続しなくなってしまう。これは実に惜しいことです。はじめの1回目で、上手くいったかどうか、将来的にどうかなど、そう簡単に分かるものなのでしょうか。

秘策：継続させるヒント

秘策～それはそのプランをやる前から、どこまで続けるか、逆に絶対何をしないかを決めておくことです。かくいう私は会社を飛び出して一人で起業した際に、何をやろうとか具体的に決めていませんでした。唯一決めていたことは、もう二度と会社勤めはしない、自分ひとりのビジネスを貫くということでした。

初年度は売上ゼロでした。それでも、自分ひとりのビジネスをやめる気はありませんでした。しかも3人いる子供たちが大学進学を希望してお金のかかる時期でもありましたが、ひとりビジネスをやめて職を探そうという気持ちになったことは1度もありません。

そんな中で、あるクライアントにはマーケティングを軸に営業戦略を指導し、別のクライアントには改善改革のプロジェクトを指南するようになりました。自然と不要なもの、余計なものが削られて、「私だからできるもの」が「私にしかできないもの」となったのです。この2つの取組みが、ロジスティクス大賞2年連続受賞という栄誉に繋がりました。

本気の人にしか、結果は与えられないのです。ですがあなた方に、会社をやめて本気になれと言っているわけではありません。私と同じ轍を踏むことはお薦めしません。

それでももしあなたが、人生を変えたいと望むのであれば、次のことだけはやってください。それは、「今後、ビジネスマン人生を賭けて取り組むことを決めなさい」ということです。そのためにもう一度、5つの決断のスキルをおさらいしておきましょう。 以上